

かわら版

第3回 橘小学校等複合化整備ワークショップ

日時：2021年11月2日（火） 18：30～20：30
場所：橘小学校 体育館



テーマ：「グループワークで協働のアイデアを話し合い深めよう」

- トピック1：橘小学校教職員意見交換会の報告
- トピック2：協働のあり方・考え方について
- トピック3：ワーク「グループワークで協働のアイデアを話し合い深めよう！」

橘小学校等複合施設にかかる ワークショップを開催しました！

はじめに 開催のあいさつ

橘学区連絡協議会 野瀬 委員長



皆さんこんばんは。子どもたちのことを考えると、複合化整備をいち早くやってほしいというのが願いでございます。ぜひ協力してほしいなと思っております。よろしく申し上げます。



学校関係者、学区関係者、複合化する施設関係者の皆さんが参加されました。



トピック1 橘小学校教職員意見交換会の報告

橘小学校の教職員からいただいた複合化整備に向けた意見やアイデアです。

主な意見・アイデア

学びの充実

- ・多目的ホールや子どもが自由に学習できる場など、教室だけでなく施設全体が学びの場となるような学校にしてはどうか。
- ・タブレット学習への対応など、多様な学習活動に柔軟に対応ができる教室にしてはどうか。

交流の充実

- ・セキュリティに配慮した上で、未就学児とのふれあいや高齢者との交流などがしやすい場所を設けてはどうか。

子どもの応援

- ・悩みや困難を抱える子どもや保護者をサポートできる仕組みや場所を設けてはどうか。

その他の意見・アイデア

- ・橘の木を残してほしい。

トピック2 協働のあり方・考え方について

名古屋市立大学大学院芸術工学研究所 鈴木教授



子どもが地域の多様な大人を見て育つ仕組み、これは逆に言えば、地域の多様な大人が子どもの成長を見守る仕組みと言えます。主語が変わるだけです。そういう発想が協働のアイデアを考えるポイントだと思います。学校と地域は対置的な関係ではなく、地域の中に学校があって、学校の中にも地域があるというイメージで捉えるといいと思います。家庭で育てるだけではない。学校で育てるだけでもない。地域全体で一人の子どもを見守る。ワークショップで何かそういうようなイメージができあがってくると、皆さんの目標が一つになれるかなと思います。





ワーク「グループワークで協働のアイデアを話し合い深めよう！」

参加者が3つのグループに分かれグループごとに意見を出し合い、アイデアを深め、そのアイデアから協働のキーワードをとりまとめました。皆さんからの主な意見を紹介します。

Aグループ

Bグループ

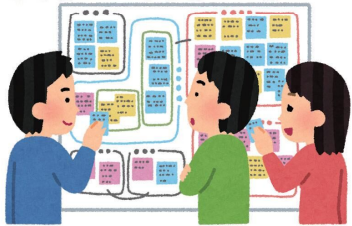
協働のキーワード	アイデア・気になる点
多世代交流	・他学年と交流しながら給食を食べることができる
	・児童館と小学校で小中学生の交流ができる
	・未就学児との交流ができる
	・サークル活動での交流ができる
	・運動場で幼稚園の運動会ができる
	・全世代で利用できる体育館があると良い
	・花壇の植え替えを教えることができる
	・独居老人と一緒に食事をする事ができる
	・体育館を広くし、地域と子どもの音楽会ができる
	・小学生に対して「あそび」を伝承できる
・講座で福祉会館と生涯学習センターが交流できる	
教育の場・協働の充実	・共同利用可能な学習室がほしい
	・体育館に冷暖房がほしい
	・ふんだんに木材を利用してほしい
やさしい施設 きっかけづくり	・不登校児童サポートができる
	・福祉を身近に感じることができる場所になると良い
	・施設全体で地域清掃活動を行うことができる
共同スペースの利用	・子ども美術館として利用できる
	・4施設で自由に使える図書館や学習室がほしい
安心・安全な施設	・交通ルールについて教育ができる
	・スクールポリス・ポリスボックスを設置してほしい
施設の充実	・橘の木を残してほしい

協働のキーワード	アイデア・気になる点
小学校エリア	・子どものクラブ活動の応援ができる
	・大人が子どもに、子どもが大人にパソコン、料理、工芸を教えられる
	・高齢者と子どもが交流可能な図書室、体育館、パソコン室があると良い
	・いろんな分野の図書が共有できる
地域・その他	・大きなプレイルームがあると良い
	・囲碁将棋教室活用で異世代交流ができる
	・外国の方も使いやすい異文化交流の視点を取り入れた施設が良い
	・高齢者と子どもたちが交流できる
	・地域の方が休憩できる場所があると良い
安全	・橘学区の介護施設の方たちと交流し、橘小学校音楽会など来てもらう
	・保育園の子どもたちが学校入学前に来て在校生の子ども達と遊ぶことができる
	・大勢の方が安全に避難できる施設にしてほしい
	・災害時のトイレ、物資の保管場所の確保をしてほしい
	・危険のない場所、不審者が入らない、入れない施設にしてほしい

Cグループ

協働のキーワード	アイデア・気になる点
管理運営の一体化 人材育成	・管理の一体化（学校も含めて）をしてはどうか
	・施設の一体的な管理運営やプログラミング人材の学校受け入れなどを行う人材コーディネーターを配置してはどうか
安全	・普段から子どもや女性が不安な時に駆け込めるような施設にしてはどうか
	・全施設合同の防火、防災訓練をしてはどうか
地域連携	・高齢者と子どもたちの交流ができる
	・子どもから大人への何かを伝える機会ができる
	・学校と地域の垣根をなくすイベントをしてはどうか
	・運動場でのお祭りをしてほしい
各施設の機能の確保	・運動場の一般利用、地域学区の運動会をしたい
	・一緒になることで各複合施設の機能を改良したい

協働のアイデア以外にも、やさしい思いやりのある施設になってほしいという多くの意見やアイデアをいただきました。



ワークショップアドバイザーより

名古屋市立大学大学院芸術工学研究科 鈴木教授



発表をお聞きして、たくさんのキーワードが出てきたと思います。名古屋市の方がこうした皆さんの言葉をもう一度整理して、段々建築としてどういうふうにしていくかを考える材料が少しずつ整ってきていると思います。今日の貴重な意見が今後の新しい提案につながっていくと思います。